

平成 27 年度 1 月 自立支援協議会定例支援会議

日時	平成 28 年 1 月 28 日（木）13:30～15:30
場所	東広島市市民文化センター研修室 1・2
参加者 56 人	宗近病院、訪問看護ステーションあすか東広島 2 人、エンジェルアイ、児童デイいずみ、Bee-Hive、爽裕会（松賀苑）、生活介護事業所つつじ、広賀園 2 人、平成会（こだま）、みどりの町（ともがき）、社会福祉協議会 3 人、広島県リハビリテーション協会（特定相談支援事業所ときわ）、広島県同胞援護財団（西志和農園）、県福祉事業団（あけぼの）、ミライの会、心身障害児者父母の会 3 人、民生委員児童委員協議会、東広島ろうあ協会 2 人、ピアカウンセラー（聴覚障害担当）、手話サークル連絡会 2 人、手話通訳者 2 人、要約筆記サークル花たば、県手話通訳問題研究会中部ブロック、県立黒瀬特別支援学校、県立西条特別支援学校、県立身体障害者更生相談所、広島中央障害者就業・生活支援センター、広島西条公共職業安定所、市民（当事者）1 人、市黒瀬支所福祉保健課、市福祉部健康増進課、市福祉部障害福祉課 5 人、市子育て・障害総合支援センター11 人（順不同）
<p>1. 平成 27 年度 11～1 月相談支援会議の報告（報告者：松賀苑）</p> <p>○（1）生活介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所の不足および利用保障の具体化に向けて協議。 ・具体的な方向性が出たことにより、相談支援会議での協議は一旦終了。 <p>（2）自立支援協議会の協議体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度の体制見直しから 3 年が経過し、現在の体制を評価。 ・評価を基に来年度からの協議体制について継続協議中。 <p>2. 東広島市自立支援協議会体制について（報告者：障害福祉課）</p> <p>○資料「東広島市自立支援協議会協議体制の見直しについて（案）」をもとに説明。</p> <p>3. 自立支援協議会プロジェクト会議、部会等の進捗状況についての報告</p> <p>○精神保健福祉部会（報告者：はあとふる CD）</p> <p>「精神に障害がある方が、緊急時に利用する社会資源（ショートステイ等）が不足していることについて」の取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との座談会開催（計 3 回 民生委員参加者 25 名） <p>11 月 20 日：西条地域 12 月 1 日：黒瀬地域 12 月 3 日：河内・福富・豊栄地域</p> <p>○就労部会（報告者：はあとふる CD）</p> <p>10 月部会報告から抜粋。部会は年 4 回の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所からの現状報告と意見交換 ・就労継続 B 型事業所利用について⇒検討会の立ち上げ ・就労継続支援事業の集まりについて⇒10 月 6 日開催（8 事業所 参加者 12 名） <p>○権利擁護部会（報告者：はあとふる CD）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポートフォーラム東広島について⇒分科会テーマ「意思決定支援を考える」 	

- ・ 障害者虐待の通報者が施設から提訴された記事について⇒新聞記事を基に話し合い
- ・ 平成 27 年度の市内障害者虐待の状況について⇒件数・障害種別等を確認
- ・ 平成 26 年度の全国障害者虐待調査について⇒通報件数は減少、認定件数は増加

○ヘルパー支援部会（報告者：はあとふる CD）

- ・ 11 月 13 日ヘルパースキルアップ研修開催（参加者 42 名）
- ・ 介護職員喀痰吸引等指示書について
⇒実情に合わせて変更を検討。市内では共通の様式が使用できるように周知を行う。
- ・ あいサポートフォーラム東広島に参加⇒ヘルパーの仕事内容等をホワイエにパネル展示

○療育部会（報告者：はあとふる CD）

- 「ライフステージ移行（保育所・幼稚園等から小学校への移行）について」
- ・ 児童の情報を確実に伝える仕組み⇒「移行支援会議」 相談窓口：保育コーディネーター
 - ・ 特性と必要な支援を伝えることは合理的配慮。

○医療連携部会（報告者：はあとふる CD）

11 月の部会報告。部会は年 4 回の開催。

- ・ 在宅移行支援プログラムの検討⇒東広島医療センター地域連携室の参加のもと現状の情報交換。今後は課題を整理し、在宅移行プログラムの構築をめざす。
- ・ 西条特別支援学校の教育支援計画フォーマットを紹介
- ・ 資源リストの更新⇒福祉避難所の情報を追加掲載予定

○聴覚障害者の課題を検討する部会（報告者：東広島ろうあ協会）

- ・ あいサポートフォーラム東広島の分科会について⇒避難所運営ゲーム（HUG）実施
- ・ 聴覚障害者の支援者とわかる表示物（バンダナ）について⇒配布対象者を協議
- ・ 部会構成団体の取り組み
 - ①MIMI 一座：市生涯学習フェスティバルに手話劇出演
 - ②高屋地区民生委員・児童委員協議会定例会：ミニ手話講座（月 1 回約 15 分）継続中
 - ③スマイルクラブ（難聴児を持つ親の会）：中学生向け「スマイルジュニア」発足
 - ④MIMI 学園：手話カフェ開催（12 月 12 日 来場者約 70 名）

○相談支援事業所連絡会（NETZ 東広島）（報告者：はあとふる CD）

（11 月）緊急時について：緊急時について各事業の現状確認。

（12 月）緊急時について：サービス等利用計画に記載する。

介護保険移行に関して：移行に関しては相談支援専門員も協力する必要あり。

（1 月）災害時の対応：福祉避難所の確認、避難行動要支援者プランの申請から登録までの流れを確認。また市危機管理課と情報共有。

○障害者施設支援連絡会（SKH 東広島）（報告者：はあとふる CD）

研修会開催：11 月 27 日 経験年数 5 年以上の中堅職員対象

テーマ「利用者の意思表示や意思決定支援」

12月の部会報告。部会は年4回の開催。

- ・権利擁護の視点での意見交換
- ・虐待防止チェックリスト：客観的な尺度⇒共通意識ができる。

○障害福祉サービスから介護保険移行についてのQ&A集作成プロジェクト

(報告者：はあとふるCD)

- ・プロジェクト会議開催7月～ 10月23日(金)、11月20日(金)、12月18日(金)
- ・協議内容 ①移行チャートへの記載内容 ②Q&A集に記載する内容 ③掲載事例の検討
- ・今年度中の完成を目指す。

○訪問介護事業所において、介護保険のみ事業を運営している事業所に障害福祉サービスの指定をとってもらうためにプロジェクト (報告者：はあとふるCD)

- ・プロジェクト会議開催10月～ 10月6日(火)、11月20日(金)、12月21日(月)
- ・「依頼はあるがサービスに結びついていないニーズ」のアンケートを実施。その結果を基に、現在介護保険のみ事業所されている事業所を訪問中。

【質疑応答】

Q1 (参加者)

当事者参加について。この定例支援会議にも当事者の参加がほとんどないのは、説明が分かりにくいからだと思う。分かりやすい説明をお願いしたい。

A1 (障害福祉課)

分かりやすい、分かりにくいというのも個々違いがあると思うが、できるだけ分かりやすい説明に努力していきたい。分かりにくいときには都度、指摘いただきたい。

Q2 (東広島ろうあ協会)

当事者参加について。東広島ろうあ協会としても、事務局に任せきりにするのではなく、他の障害者団体と共に自分たちでも考えていきたい。

A2 (はあとふる)

自立支援協議会は支援者だけが作るものではなく、当事者がより良くしていくもの。今後とも共同して進めていきたい。

3. 情報交換

○市役所庁舎本館における障害者福祉事業(自動販売機設置)(障害福祉課係長)

別添資料

○第61回広島県耳の日記念大会(東広島ろうあ協会)

別添チラシ

以上